

# IDÉE

拭いてください。さらに水を浸した布で洗剤分をしっかり拭きとり自然乾燥してください。ただし目立たない部分で色落ちがないかを試してから行ってください。

○ドライヤーの熱風で乾かさないでください。生地・ウレタン等が変色、変形したり、火災の原因になります。

## ④合成皮革

○汗・アルコール・整髪料・洗剤等を付着させたまま長時間放置すると、化学変化で合成皮革の表面が固くなることがあります。柔らかな布で水拭きし、最後に乾いた布で水分をしっかり拭きとってください。

○ビニール製品や濡れたタオルを製品の上に長時間放置していると、変色や退色の原因になりますので注意してください。

○化学ぞうきんは使用しないでください。合成皮革の表面のツヤが消えたりしみになる場合があります。

## ⑤プラスチック・金属部

○汚れが落ちにくい時は、中性洗剤をぬるま湯で3~5%にうすめて柔らかい布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後よく水拭きし、最後に乾いた布で水分をしっかり拭きとってください。

## 取扱説明書【イス・ソファ】

この度はイデーの製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。製品を末長く安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。また必要に応じていつでも読めるように保管してください。

## Contents

- 1:イス・ソファの設置について**
- 2:ご使用上の注意**
- 3:保守・点検**
- 4:お手入れ方法**

### 1:イス・ソファの設置について

- ①直射日光や熱、冷暖房器具の風が直接当たらないように設置してください。製品の変形や変色、火災の原因になります。
- ②製品は水平に保つようレベル調整してください。製品の変形・ゆがみの原因になります。
- ③床面がフローリングや畳の場合、床材にキズをつける恐れがあるので、脚部にフェルトを貼って保護したり、敷物等を敷いてご使用ください。
- ④床面がクッションフロアの場合、脚部にフェルトを貼って保護したり、敷物等を敷いてご使用ください。木部の塗料と床材との反応による汚れを防ぎます。
- ⑤壁に直接触れないように設置してください。壁紙などに色移りする恐れがあります。

## お問い合わせ先

株式会社良品計画 イデー事業部 〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3 Tel:03-5953-4560

## 2:ご使用上の注意

①製品の上に立ったり、踏み台として使用したり、不安定な姿勢で腰掛けたりしないでください。転倒してケガをすることがあります。

②キャスター付の製品では、座ったまま激しく移動をしたり、押して遊んだりしないでください。

③イスを移動する時は、必ず本体フレームを持ち上げて移動をしてください。引きずって移動をすると床材をキズつける恐れがあります。

④肘や背もたれの上に腰掛けたり乗ったりしないでください。特にキャスター付の製品の場合、体重をかけて立ち上る時には十分注意をしてください。

⑤座った状態で本体を傾けないでください。製品や床材を破損したり、転倒の危険があります。

⑥保護者の目の届かない所でお子様ひとりでは使用させないでください。思わぬ事故やケガの原因になります。

⑦破損・変形したイスは使用しないでください。

⑧座面が回転式のイスでは下記の事項に注意をしてご使用ください。

a.回転金具やイスの上部・下部の隙間に指を挟まないようにしてください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

b.使用中に前後に搖すったり必要以上に回転をさせないでください。回転する時はイスの中央部に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

c.本体に不用意に寄り掛かったり手を付かないでください。

⑨タバコの火等を製品の上に落とさないでください。火災の原因になります。

⑩化粧品・整髪料が付着した時はすぐに除去してください。変色や退色の原因になります。(マニキュアや除光液の汚れは取れませんのでご注意ください。)

⑪製品に使用している接着剤等の成分(ホルムアルデヒドなど)により、肌の弱い方はアレルギー反応が起こることがあります。それらの成分は特性として空気中に放散しやすいので、室内の換気を十分に行ってください。症状が改善しない時はすみやかに使用をやめ、医師にご相談ください。

## 3:保守・点検

①脚・キャスター・ネジ・金具類は、ゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいる場合は工具を使用してしっかり締め直してください。ゆるんだ状態でのご使用は、破損や思わぬケガの原因になります。

②虫害を発見した場合は直ちに殺虫・防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大する恐れ

があります。

③改造および弊社以外での修理はしないでください。製品の強度が落ち、破損の原因になります。

## 4:お手入れ方法

### ①木部

○塗装面のホコリは柔らかい布かハタキで払ってから、柔らかい布で乾拭きをしてください。ホコリがついたまま拭くと細かなキズがつくことがあります。

○汚れが落ちにくい時は、ぬるま湯でうすめた中性洗剤を柔らかな布に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後よく水拭きし、最後に乾いた布で水分をしっかり拭きとってください。

○化学ぞうきんは使用しないでください。塗装面のツヤが消えたり、しみになる場合があります。

### ②天然皮革

○毎日のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。

○ジュース・コーヒー・お酒等をこぼした時にはすみやかに拭き取ってください。汚れたまま長時間放置すると汚れが落ちにくくなります。

○汚れが目立つ場合は、ぬるま湯でうすめた中性洗剤を柔らかな布に浸し、かたく絞ってから叩くようにして拭いてください。

その後、水を浸した布で洗剤分をしっかりと拭きとり自然乾燥してください。最後に革製品専用のクリーナーで商品全体を拭いてください。

ただし目立たない部分で色落ちがないことを確認してから使用してください。またクリーナーは直接革に塗布せず、柔らかい布につけて使用してください。

○有機溶剤(シンナー・ベンジン)・漂白剤・靴クリーム等は使用しないでください。革を傷めたり、変色や退色の原因になります。

○ビニール製品や濡れたタオルを製品の上に長時間放置していると、変色や退色の原因になりますので注意してください。

○カビが発生した場合は、その部位をよく乾燥させてからブラッシングしてください。

その後革製品専用のクリーナーで全体を拭いてください。

### ③ファブリック

○毎日のお手入れはブラッシングや掃除機でホコリ等を取り除いてください。

○ジュース・コーヒー・お酒等をこぼした時はすみやかに拭きとってください。その後乾かないとしみに、ぬるま湯でうすめた衣料用液体洗剤を柔らかい布に浸し、かたく絞ってから叩くようにして